

SQL Anywhere の最小ハードウェア要件

	開発 (完全インストール)	配備 (サーバ)	配備 (クライアント)
32 ビット CPU	Pentium 2 互換以上 Pentium 4 互換以上 (空 間データをサポートする 場合)	Pentium 2 互換以上 Pentium 4 互換以上 (空 間データをサポートする 場合)	Pentium 2 互換以上 Pentium 4 互換以上 (空 間データをサポートする 場合)
64 ビット CPU	AMD64, Intel EM64T, SPARC, PowerPC または Itanium 2	AMD64, Intel EM64T, SPARC, PowerPC または Itanium 2	AMD64, Intel EM64T, SPARC, PowerPC または Itanium 2
RAM	Windows XP の場合は 256MB のメモリが必要 Windows Vista および Windows 7 の場合は 512MB のメモリが必要 Sybase Central や Interactive SQL などの管 理ツールを使用している 場合は、上記のメモリ要件 に加えて、さらに 64MB ~ 128MB の RAM が必	Windows XP の場合は 256MB のメモリが必要 Windows Vista および Windows 7 の場合は 512MB のメモリが必要	4MB のメモリ

	要		
ハード・ディスク	500MB の他に、データベース、ログ・ファイル、およびテンポラリ・ファイルを保持するのに十分なディスク領域	20MB の他に、データベース、ログ・ファイル、およびテンポラリ・ファイルを保持するのに十分なディスク領域	10 MB

サポートされるオペレーティング・システムの詳細については、[「対応 OS」](#)を参照してください。

サーバが最低限のハードウェア要件しか満たしていない場合、パフォーマンスが低下することがあるため、ハードウェアのアップグレードが必要になる場合があります。一般に、ハードウェアがデータベース・サーバの負荷に対応できるかどうかは、ハードウェア構成を見て判断します。

データベース・サーバの起動時に `-fc` オプションを指定すれば、データベース・サーバでファイル・システムがいっぱいになった場合に、コールバック関数が実行されます。[「-fc dbeng12/dbsrv12 server option」](#)を参照してください。